

工事における環境配慮

仮柵などによって人々を遠ざけ、人々の動きを寸断するといった、従来の工事スタイルから脱却し、環境保全をキーワードに、「人と工事現場を遮るのではなく融合させる」「見る・見られる」ような市民参加型の新たな工事スタイルを追求しています。

舟運の利用

建設に伴い発生する一般残土は、中之島という川に面した立地を生かし、一部の現場で、土砂運搬船に積み込み、処分地へ運びました。トラック輸送に比べCO₂やPM(粒子状物質)等の排出を大幅に削減でき、またトラック走行に伴う騒音・振動の低減、交通渋滞緩和にも寄与しました。なお、現在シールド工事に伴い発生する泥土についても、一部舟により運搬しています。(平成19年5月末現在)

基本コンセプト

中之島線建設工事は単なる工事ではない。
「人と工事現場を遮るのではなく融合させる」
中之島だけの固有の景観を広くアピールし、
内外の多くの人々に強い印象を与える
古くて新しい中之島にしたい。



中之島舟運



景観に配慮した仮設遊歩道



仮護岸をレンガで装飾

現在の工事状況

駅と駅を結ぶトンネルの構築は、シールドマシンを使用します。中之島駅～渡辺橋駅間のシールド工事はすでに完成。渡辺橋駅～大江橋駅間および大江橋駅～なにわ橋駅間のシールド工事は東行き線トンネルが貫通し、それぞれ折り返して西に向けて掘進中です。なにわ橋駅～天満橋駅間のシールド工事はシールドマシン2基がなにわ橋駅から天満橋駅に向けて掘削を進めています。(平成19年5月末現在)

シールドマシンとは:

地盤を横に掘り進むことのできる円筒状の掘削機。本体外周には円筒形の鋼殻が設けられており、周囲の土圧に耐える役割を果たします(直径約7m)。



シールドマシン



貫通した渡辺橋駅～大江橋駅間東行きトンネル

地域社会とのコミュニケーション

インフォメーションセンター

工事期間中、企業や一般市民の方々に中之島線建設工事の概要や工事の進め方について理解していただくために「インフォメーションセンター」を設置し、工事情報等を提供しています。主な展示の内容は、中之島線の事業パネル、各工区の工事内容、中之島の歴史パネルやVTR等です。



インフォメーションセンター

<概要> 場所：大阪市北区中之島4丁目3番30号
電話：06-6443-0036
入場：無料
時間：午前9時から午後5時まで

建設現場見学会

小学生を含む一般の方を対象とした中之島線建設現場見学会を実施しています。駅躯体の構築状況をご覧いただいたり、完成した中之島駅-渡辺橋駅間のシールドトンネルを歩いていただくなど、より中之島線建設工事をご理解いただけるよう努めています。ご参加いただいた方からは、「工事現場を見学できたのは貴重な機会であった」、「中之島線への期待が高まった」等のお言葉をいただきました。



中之島線建設現場見学会